

平成 13 年 9 月 11 日

各 位

株式会社あさひ銀行 (コード 8322)  
東京都千代田区大手町一丁目 1 番 2 号

## 当行の株価動向に関する声明

この数日間、当行の経営状況等につきまして事実に基づかない、あるいは根拠の無い報道が錯綜しており、これが当行株価の大幅な変動を引き起こした主な要因であると認識しております。

当行としましては、こうした一部の報道に対し、断固たる対応を行うとともに、当行の現状につきまして御理解頂くための声明を、下記のとおり公表することと致しました。

### 記

#### 1. 当行の信用を著しく毀損するような事実に基づかない風評・報道等には断固たる措置を取ります。

- ・ 平成 13 年 9 月 7 日の『当行に関する風説の流布等について』にて公表しましたとおり、事実に基づかない風評・報道等に対し、証券取引等監視委員会に適正な措置をお取り頂くようお願いし、同日、同委員会から調査に着手した旨公表されております。
- ・ しかし、誠に遺憾ながら、その後もテレビ番組を含む一部報道におきまして、当行に対する根拠の無い発言等が見られることから、当行としましては、訂正と謝罪を請求する文書を送付する等、断固たる措置を取ることと致しました。  
※ 上記文書につきましては、全文を当行ホームページに掲載致しました。
- ・ 「中間配当見送りにより、国有化される」等の報道が未だにありますが、これは事実誤認であり、平成 13 年 9 月 7 日に金融庁からもその旨公表されております。

## **2. 当行収益は順調に拡大しており、自己資本比率等を見ても健全性は確保されております。**

- ・ 当行がリテールバンクとして注力する住宅ローンの増加等を背景に、業務純益は順調に拡大しており、平成 13 年度中間期は当行史上最高益に近い 950 億円の目標を達成する見込みであります。
- ・ また、平成 13 年度中間期の不良債権処理につきましても、健全化計画に沿った損失負担を見込んでおります。
- ・ 自己資本比率は平成 13 年 3 月末では 11.14%であり、万一、日経平均が 10,000 円を割り込む水準となった場合におきましても、10%程度を確保できる見込みであります。
- ・ 本日現在、国際的格付機関による格付につきましては、BBB+レベルにあり、当行の資産内容等の健全性が裏付けされているものと認識しております。  
※ なお、平成 13 年 9 月 7 日の『大和銀行に対する経営統合の検討申入れ』の公表を受けまして、各格付機関からは「統合のため、格付変更の可能性有り」と公表されております。

## **3. 健全化計画に掲げたリストラは順調に進捗しておりますが、更に大幅な前倒し実施に着手して参ります。**

- ・ リストラについては、旧健全化計画を上回るペースで積極的に推進して参りました。
- ・ 新健全化計画においては「経営姿勢の明確化」「海外支店の全面廃止」「人員の削減」等掲げ、順調に進捗しておりますが、更に大幅な前倒し実施に着手して参ります。

## **4. 大和銀行グループとの経営統合に関する申入れを行う等、今後とも地域のお客さまに信頼される金融機関を目指して参ります。**

- ・ 当行は、大和銀行グループの掲げました「地域密着を基本とする地域金融機関の連合体構想」に賛同し、経営統合を申し入れたものです。
- ・ 当行は、大和銀行グループとの統合により、国内有数の信託機能の提供を受けるほか、健全化計画を上回る抜本的な店舗の効率化が図れる等、多大な相乗効果が発揮できるものと考えております。
- ・ 以上を踏まえ、当行経営陣は一丸となり、不退転の決意を持ちまして、大和銀行グループとの早期合意を実現すべく、交渉しております。

以上